

総務文教常任委員会  
所管事務調査資料

(令和8年4月23日)

(協議案件)

- ⑤ 高齢者の見守り事業について

住民課 福祉グループ

## 1 高齢者の見守り事業に関する計画、条例等

### (1) 第2次厚真町地域福祉計画（令和6年度～令和10年度）（一部抜粋）

#### 第1章 基本理念と基本目標

##### 2. 基本目標

##### 基本目標3 住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる仕組みづくり

住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、健康に関する意識の向上や健康増進のための活動を進めるとともに、地域生活を支える福祉サービスの充実や、安心した地域生活を送るための見守り活動や権利擁護体制の充実を図ります。

#### 施策の方向

##### 地域における見守り体制の充実

- ・「地域包括支援センター」と関係団体の連携を強化し、地域における高齢者の見守りと自立支援のネットワークの構築をめざしていきます。

#### 第2章 地域福祉計画の重点施策

##### ■地域における見守り体制の充実

道内では、核家族化や価値観の多様化などにより、地域コミュニティの希薄化が進む中、福祉的な支援が必要にもかかわらず、地域から孤立した状態で亡くなられる「孤立死」の事案が発生しており、高齢者や障がいのある方などへの見守り体制の充実が求められています。

当町においては、「孤立死」といった痛ましい事案の発生を未然に防ぎ、地域において孤立することなく、安全で安心な生活を送ることができるよう進めていきます。そのため、見守りの対象とする要援護者の選定及び実態把握、社会福祉協議会などの関係機関、民生委員・児童委員、老人クラブ、自治会との要援護者情報の共有、胆振総合振興局や近隣市町村との連携を強化します。その他、認知症の方などの見守り支援用アプリを活用した新たな見守り体制の構築など、地域における見守り体制づくりを強化推進していきます。

#### 第6章 厚真町認知症施策推進計画

#### 基本施策4 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人の支援・社会参加支援

認知症の人やその家族が地域で安心して暮らしていくためには、認知症の正しい理解の広がりとともに、認知症の人やその家族の気持ち、意向を尊重し、さりげない見守りや配慮ができる地域づくりを進めることが大切です。

このため、認知症の正しい理解のための「認知症サポーター」の養成のほかに、徘徊見守りSOSネットワーク（厚真町見守りあんしんネットワーク）の地域での見守り活動の支援などに取り組みます。

また、若年性認知症支援コーディネーターの活動の充実を図り、居場所づくりや社会参加支援に取り組みます。

<主な取組>

##### ①チームオレンジの整備

- ・「認知症サポーター」等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み（「チームオレンジ」）の構築に向けた検討を行います。

##### ②認知症高齢者等に対する見守りの推進（見守りあんしんネットワーク）

- ・本町では検索アプリ「オレンジセーフティネット」を令和5年度から導入しており、ネットワークに登録することで見守り協力員が事前に見守る対象者を知ることができ、今後も有効な見守りネットワークとなるよう推進していきます。また、アプリを活用した徘徊搜索訓練を実施しており、アプリを活用することで、コミュニティ単位での見守り意識の向上を目指します。

(2) 厚真町高齢者生活支援条例（平成12年条例第4号）（一部抜粋）

（目的）

第1条 本町に住所を有する在宅の高齢者（おおむね65歳以上の者をいう。以下同じ。）が自立した生活を送るための支援及び介護を行う家族等に対する支援を行うことにより、高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

第2条 町は、予算の範囲内において、生活支援に関する事業として、別表に掲げる事業を行う。

別表（第2条関係）

事業名	内容	対象者
生活管理指導短期宿泊事業	（略）	（略）
緊急通報装置設置事業	在宅のひとり暮らしの高齢者に緊急通報装置を貸与し、急病等の救急救助体制を構築する事業	ひとり暮らしの高齢者で身体上の理由により緊急事態に機敏に行動することが困難な者
補聴器購入費助成事業	（略）	（略）
介護タクシー利用支援事業	（略）	（略）

2 本町が行う高齢者の見守りに関する主な取組の概要

項目	フェーズ①：平時（見守り・予防） 「厚真町高齢者見守り支援事業」	フェーズ②：緊急時（緊急対応） 「緊急通報装置設置事業」	フェーズ③：行方不明時（地域搜索） 「オレンジセーフティネット」
目的	I C T機器を活用した見守り支援及び介護予防支援を実施することにより、認知症の進行予防及びフレイル予防を図り、在宅生活の継続を支援する。	在宅のひとり暮らしの老人等の急病・災害等の緊急時における迅速かつ適切な救急救助体制を構築する。	認知症高齢者等の行方不明時における早期発見と安全確保を図る。

項目	フェーズ①：平時（見守り・予防） 「厚真町高齢者見守り支援事業」	フェーズ②：緊急時（緊急対応） 「緊急通報装置設置事業」	フェーズ③：行方不明時（地域搜索） 「オレンジセーフティネット」
事業内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) AIを活用し、定期的な音声発信による安否確認を実施</li> <li>(2) 利用者の応答内容や応答状況、利用頻度等を分析し、生活状況の変化や異常の兆候を検知</li> <li>(3) 一定期間応答がない場合や異常が疑われる場合には、家族や関係者へ自動通知</li> <li>(4) クイズや会話型コンテンツ、健康情報の配信により、認知機能の維持及び生活習慣の改善を支援</li> <li>(5) 専用端末を通じて、家族や友人と簡単に通話が可能であり、孤立防止や心理的安心感の向上に寄与</li> <li>(6) 災害時や緊急時には、避難情報等の行政情報を音声で配信し、情報弱者への確実な伝達手段として活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報装置（ペンダント型発信機等）を貸与</li> <li>(2) 利用者は、体調急変や転倒等の緊急時に、ボタン操作により24時間365日コールセンターへ通報可能</li> <li>(3) 通報を受信したコールセンターでは、常駐する看護師等が音声により状況を確認し、緊急性を判断</li> <li>(4) 必要に応じて、胆振東部消防組合指令センターへ救急出動を要請</li> <li>(5) 併せて、あらかじめ登録された家族・協力員へ速やかに連絡</li> <li>(6) 状況に応じて現地への駆け付け対応を行い、救急対応までの初動支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 認知症高齢者等について、事前に写真や身体的特徴、連絡先等の情報を登録</li> <li>(2) 地域住民や事業者に対し、搜索協力者としてスマートフォンアプリへの登録を促進</li> <li>(3) 行方不明発生時には、家族等がアプリを通じて搜索依頼を発信し、対象者の情報を即時配信</li> <li>(4) 協力者のスマートフォンへプッシュ通知を行い、地域ぐるみでの見守り・搜索を実施</li> <li>(5) 発見に関する情報（位置情報、写真等）をリアルタイムで共有し、効率的な搜索活動を支援</li> <li>(6) 搜索状況を地図上で可視化し、関係者間で状況を共有</li> <li>(7) 発見後は速やかに配信を停止し、個人情報 の適正管理を徹底</li> </ul>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 認知症又は認知機能の低下が認められる者</li> <li>(2) フレイル予防又は介護予防の観点から見守り支援が必要と認められる者</li> <li>(3) その他町長が必要と認める者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ひとり暮らしの高齢者（おおむね70歳以上）で身体病弱のため緊急事態に機敏に行動することが困難な者</li> <li>(2) ひとり暮らしの重度身体障害者で緊急事態に機敏に行動することが困難な者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 認知症等により徘徊症状がみられる65歳以上の高齢者</li> </ul>

項目	フェーズ①：平時（見守り・予防） 「厚真町高齢者見守り支援事業」	フェーズ②：緊急時（緊急対応） 「緊急通報装置設置事業」	フェーズ③：行方不明時（地域搜索） 「オレンジセーフティネット」
		(3) 一人暮らしの者で突発的に生命に危険な症状が発生する持病を有する者 (4) 前各号に定める者と同等と認められる者で援護が必要と町長が認めた者	
使用機器等	A I 搭載ディスプレイ付スマートスピーカー（Amazon Echo Show）及び「ボイスタ！」 ※ 「ボイスタ！」とは、株式会社NTTデータがビジネスや地方自治体などの公的サービス向けにパーソナルA Iアシスタント「Alexa」を活用して提供する高齢者との新たなコミュニケーションサービス	緊急通報用電話機（ペンダント式緊急発信機・様態確認用インターホンを含む。）	ソフトバンク株式会社が提供するスマートフォンアプリ「オレンジセーフティネット」
主な協力機関等	(1) 株式会社エムリンク札幌（厚真町地域包括支援センター受託事業者） (2) 合同会社つむぎ（生活支援体制整備事業受託事業者）	(1) 安全センター株式会社（札幌市）（受託事業者） (2) 胆振東部消防組合 (3) 利用者が指定する協力員	(1) 地域住民、事業者等（搜索協力者）
令和7年度実績（3月末現在）	利用者 27人	利用者 73人 通報件数 1,878件	登録者 6人 搜索協力者 90人 搜索 0件